

7 - 2 兵庫県南部地震前後の徳島県北東部の浅発微小地震活動

Seismicity of crustal earthquakes around north-east Tokushima pref. before and after Kobe earthquake

京都大学防災研究所地震予知研究センター

Reserch Center for Earthquake Prediction,

D.P.R.I., Kyoto University

1995年1月17日の兵庫県南部地震の前年の丹波地域の地震活動には顕著なものがあつた。これは震源断層の延長領域であるが、これと同じ様な位置の淡路島南部から徳島県北東部では目立つた活発化現象は認められなかつた。

しかし、地殻地震の低調な中、1994年6月17日には徳島市直下で $M=4.1$ (図中Tで示す)、また通常地震発生の見られない紀伊水道北部(三波川帯相当域)で2月と7月に2個の地殻内の微小地震が発生した(Nで示す)。これはやはり注目すべき事実である。

紀伊水道北部の地震には今後とも注目を払う必要がある。

(許斐 直)

参 考 文 献

- 1) 岡野健之助・木村昌三・許斐直・中村正夫：1985, 四国および周辺地域の震源分布, 地震, 第38巻, P93-103
- 2) 木村昌三：1998, 西南日本の地殻地震活動と南海地震の発生時期との関連性, 京都大学防災研究所共同研究報告 8P-2, P104-113

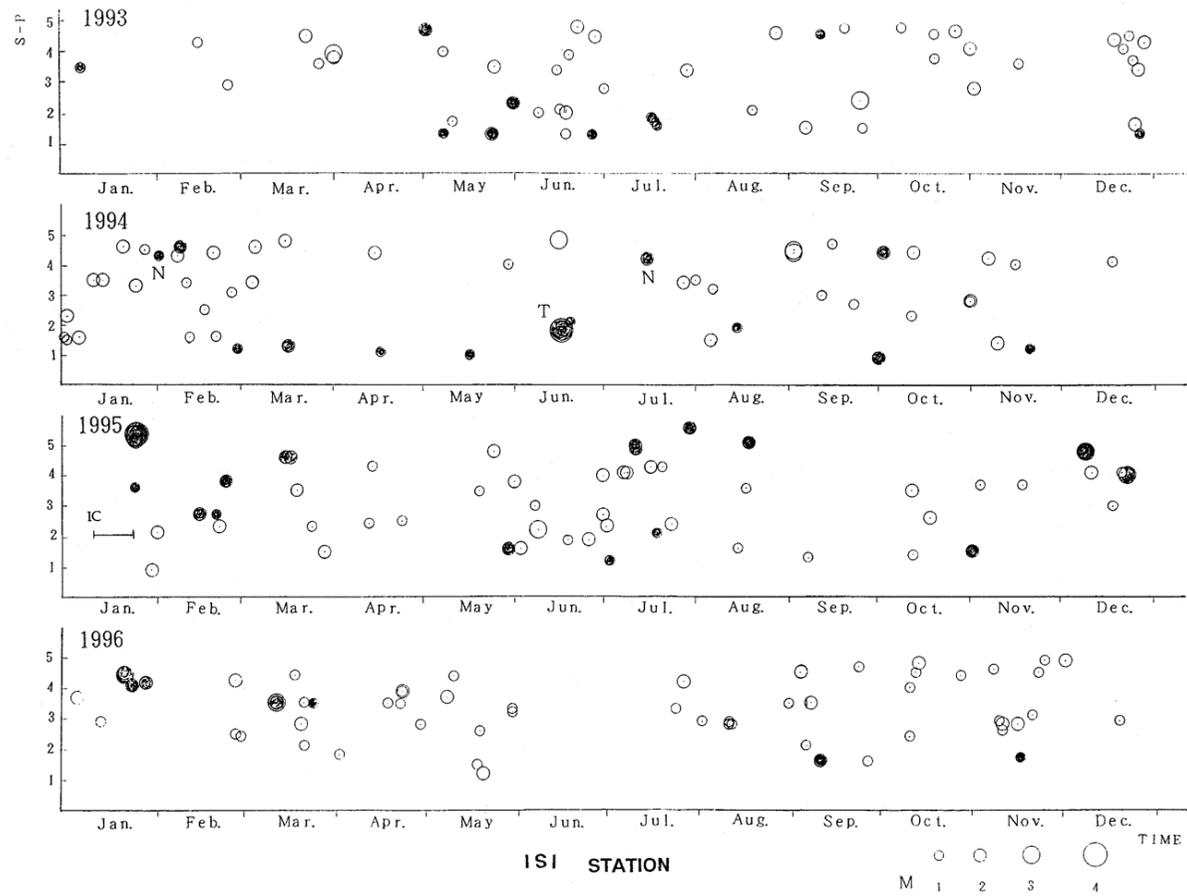


図1 - 1 石井観測点より見た地殻内地震の時系列 (1993年～1996年) 黒丸は観測点の北東側に分布するもの (図2に対応), 本震前後 (IC) はデータ不完全。

Fig.1-1 Time series of crustal earthquakes around ISI station(1993-1996) Closed circles are plotted in north-east region of ISI station.

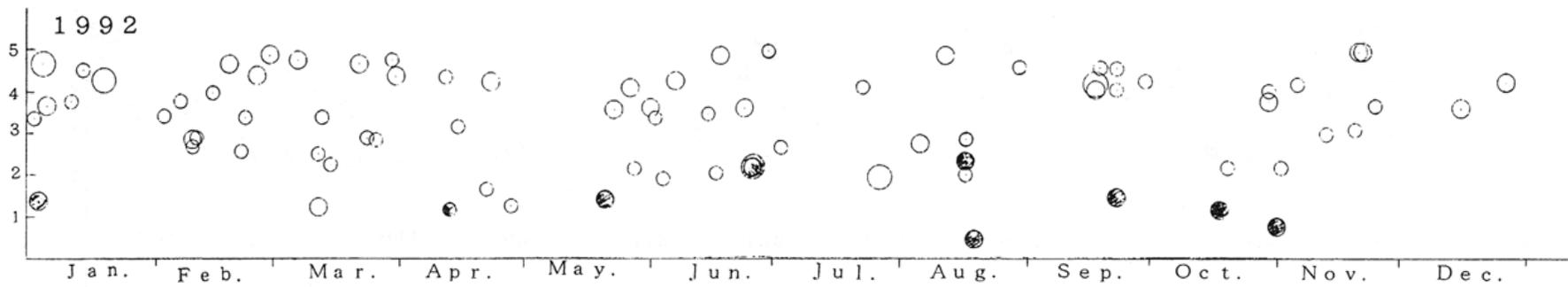
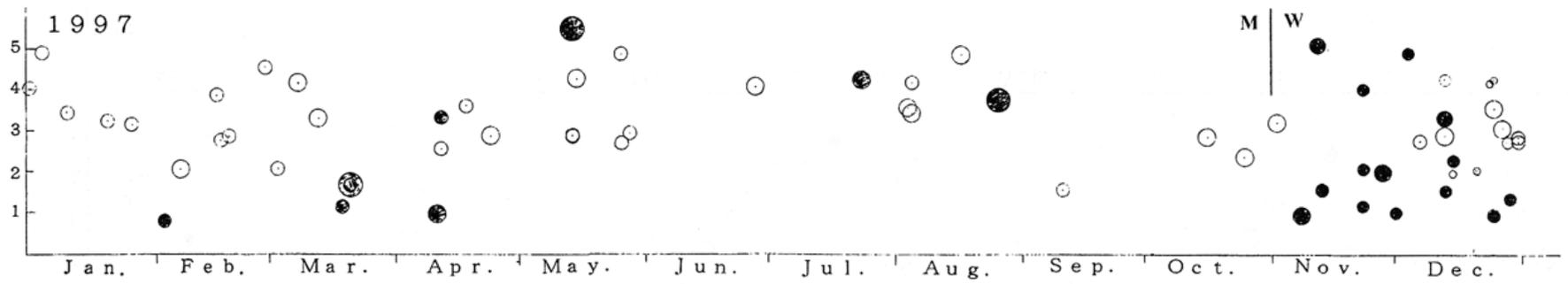


図1 - 2 同上 (1992年, 1997年) 1997年11月よりWINシステムへ移行。

Fig.1-2 ditto (1992,1997) Observation and data processing system were renewed in Nov. 1997.

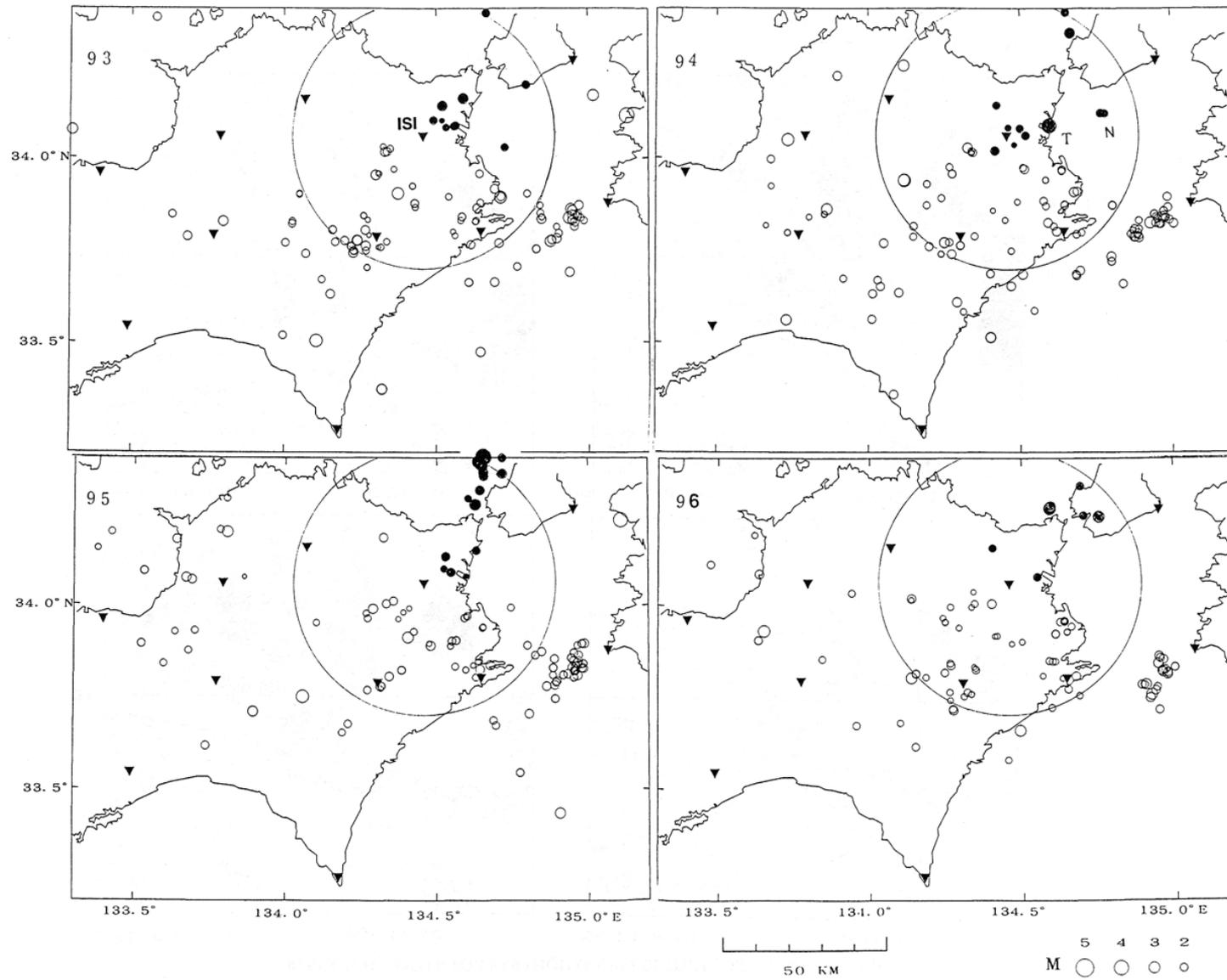


図 2 - 1 地殻内地震 (H < 23Km) の震央分布 (1993 年 - 1996 年) 石井を中心に 40Km の円 (PS ~ 5 秒), 図 1 - 1 に対応。

Fig.2-1 Epicenters of crustal earthquakes(1993-1996)PS time of ISI is less than 5 sec in large circle.

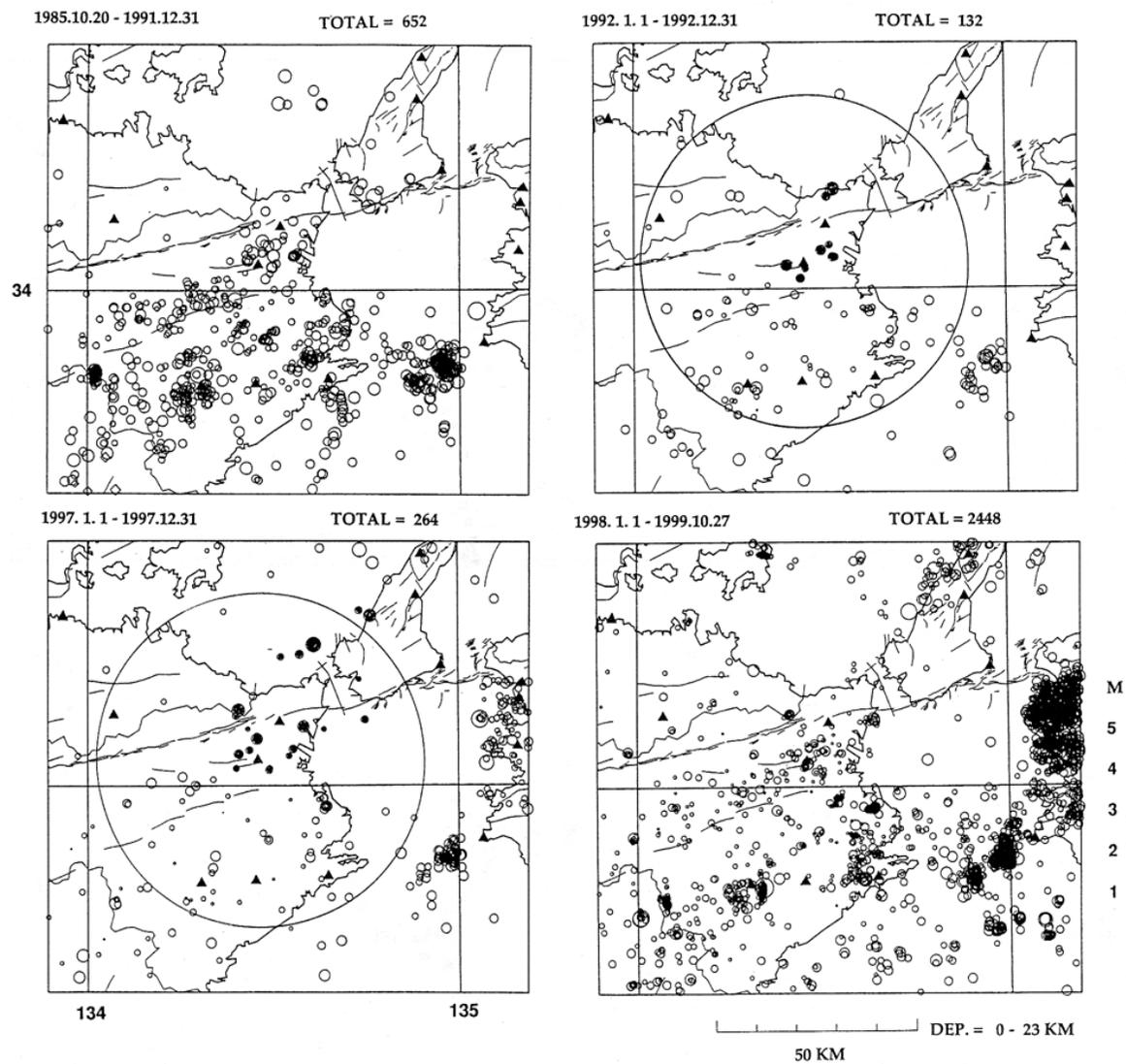


図 2 - 2 同上 (1992 年, 1997 年) 図 1 - 2 に対応, さらに前後の期間も表示。

Fig.2-2 ditto(1992,1997)Periods before and after are also displayed.